学校番号	218

平成 31 年度　国語科

教科	国語科	科目	国語総合	単位数	４単位	年次	１年次
使用教科書	高等学校　改訂版　国語総合（第一学習社）						
副教材等	書いて覚える漢字練習ノート（京都書房）　　原色小倉百人一首(文英堂)						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・中学時よりも難度の高い文章(評論・小説・古典)を読んで正しい日本語に触れ、古典を含む文学的文章や韻文を読んで美しい日本語に触れていきます。単元終了時には感想や意見を書き、主体的に考える力、表現力を磨きますので、「自ら」文章を読む姿勢が求められます。
・辞書での語句調べ、漢字の小テストを頻繁に行なうなど、基礎的な語彙力の向上をめざします。宿題として課す場合もありますので、家庭学習の習慣もつけていきましょう。
・日常的に、調べる癖、考える癖をつけていき、できることから一つずつ取り組んでいきましょう。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

2　学習の到達目標

・言語文化に対する関心を持ち、自らの能力の向上を図ろうとする。
・中学時よりも高度な文章（評論・小説・古典）を読み、自分の考えや意見を表現することができる。
・社会に通用する国語力（読解力・表現力・語彙力）の基礎を身に付け、かつ豊かな情緒を育む。
・人間関係において、互いを尊重し、相互理解を深め、正しく意思を伝え合うことができる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めると共に、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取って、自分の考えをまとめている。	相手や目的、意図に応じた表現による文章を書き、自分の考えをまとめている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深めている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴や決まり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
評価方法	行動の観察 記述の点検 (ノート・プリント等)	行動の観察 (授業中の発言や発表等)	記述の確認及び分析(ノート・プリント等) 定期考査	記述の確認及び分析(ノート等) 定期考査	行動の観察 記述の確認 (ノート・プリント等) 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
一学期中間	現代文	・周りの世界との関わり方について考える 教材:「驚くという才能」(随想) ・登場人物の心情を想像し、小説を読む楽しさを知る 教材:「旅する本」	○	○		○	○	a:話題について関心を深め、的確に読み取ろうとしている。 b：aについての考えをまとめ、深めている。 d:文章の構造を的確に捉えている。 e:正しく理解し使いこなせる言葉の数を増やしている。	a:行動の観察と確認 b:記述の確認 d:行動の観察と確認 e:定期考査
	古典	・古典の特色を学び、文章の響きに親しむ 教材:『宇治拾遺物語』 「古文を読むために」 「ちごのそら寝」	○			◎	○	a:伝統的な言語文化への興味・関心を広げようとしている。 d:文章の内容を叙述に即して的確に読み取っている。 e:文のきまり、訓読の決まりなどを理解している。	a:行動の観察と確認 d:記述の確認及び分析 e:定期考査
一学期期末	現代文	・名文に触れ、登場人物の心情の変化を丁寧に読み取る 教材:「羅生門」 ・適切な表現を学ぶ 「手紙の書き方」	○		○	◎	○	a:文章の内容を的確に読み取ろうとしている c:相手や目的などによって、簡潔な述べ方や丁寧な述べ方などを適切に使い分けている。 d:文章に描かれている情景を、本文に即して読み、人物の言動や状況、心理を捉える手がかりとしている。 e: 正しく理解し使いこなせる言葉の数を増やしている。	a:行動の観察と確認 c:行動の観察 d:行動の観察、記述の確認と分析 e:定期考査
	古典	・随筆を読み、古文の表現になれる 教材:『枕草子』『徒然草』 ・漢文書き下しを学び、文章の響きに親しむ 「訓読に親しむ」	○			◎	○	a:伝統的な言語文化へ多様な方面から迫り、日本の言語文化の独自の性格やその価値に気づこうとしている。 d:文章の筋道や、情景や心情の推移、を的確に捉え、表現上の特色を理解する。 e: 文のきまり、訓読の決まりなどを理解している。	a:行動の観察と確認 d:行動の観察、記述の確認と分析 e:定期考査
二学期中間	現代文	・現代社会の中で、自分はどのように生きていくのかについて考える 教材:「グローバリズムの遠近感」 「わからないからおもしろい」 ・さまざまな詩歌に触れる 教材:「甃のうへ　一つのメルヘン」	○	◎		○	○	a:話題について様々な角度から検討して自分の考えをもとうとしている。 b:話題について、主体的に考え、目的や場にふさわしい話し方、聞き方をしている。 d: 筆者の考えの進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を的確に捉えている。 e:言語が個人や社会の中で果たしている役割について理解している。	a:行動の観察と確認 b:行動の観察と確認 c:行動の観察 d:行動の観察、記述の確認と分析 e:定期考査

	古典	・歌物語を読み、人間のさまざまな愛に触れる 教材:『竹取物語』 「百人一首」 ・故事成語の意味や背景を知り、漢文の表現に親しむ 教材:「狐虎の威を借る」	○			◎	○	a:文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わおうとしている。 d: 文章を読みとることで、描かれている情景を、的確に捉える手がかりとしている。 e:古典を読むことに役立つ、文語や訓読の決まりを身につけている。	a:行動の観察と確認 d:行動の観察、記述の確認と分析 e:定期考査
二学期期末	現代文	・日本的な文化・ものの感じ方の特徴について知り、感性を育てる 教材:「水の東西」 ・登場人物の性格・心理・行動を的確に読み取る 教材:「鏡」	○			◎	○	a:テーマにおける日本的な文化・ものの感じ方の特徴について、的確に理解しようとしている。 d:筆者の主張を理解し、文章に描かれている人物の心情を表現に即して読んでいる。 e:文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a:行動の観察と確認 c:行動の観察と確認 d:行動の観察、記述の確認と分析 e:定期考査
	古典	・物語を読み、登場人物の心理描写をつかみ味わう 教材:『伊勢物語』 「百人一首」	○			◎	○	a: 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わおうとしている。 d: 話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み取る。 e: 古典を読むことに役立つ、文語や訓読の決まりを身につけている。	a:行動の観察と確認 d:行動の観察、記述の確認と分析 e:定期考査
学年末	現代文	・筆者の主張を読み取り、ネット社会での生き方について考える 教材:「ネットが崩す公私の境」 ・古典的な文学作品の鑑賞のしかたを身に付ける 教材:「夢十夜」 ・短歌や俳句の特徴を理解し、世界観を味わう 「その子二十　こころの帆」	○		○	◎	○	a:話題についての認識を深め、個性的な文章表現を味わおうとする。 c:文章の内容を多面的に理解し、自分の考えを適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめることができる。 d:論理的な文章、文学的な文章を、表現の技法や語句の使い方など書き手の工夫を捉えて読んでいる。 e:文や文章の組み立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにしている。	a:行動の観察と確認 c:行動の観察 d:行動の観察、記述の確認と分析 e:定期考査
	古典	作者の思いや背景を視野に入れて作品を読む 教材:『奥の細道』 漢詩「春望」	○			◎	○	a:人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気づこうとしている。 d:自然・人間などに対する作者の思想や感情を読み取る。 e: 古典を読むことに役立つ、文語や訓読の決まりを身につけている。	a:行動の観察と確認 d:行動の観察、記述の確認と分析 e:定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　e:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて〇印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。